6月19日

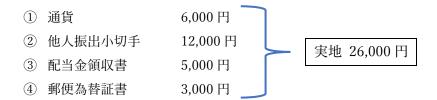
問)以下の資料に基づいて、リッキー商事(会計期間:x2年4月1日~x3年3月31日) の決算整理後残高試算表(一部)を作成しなさい。

資料 I 決算整理前残高試算表(一部)

現金	15,000 1-② 25,000	借入金	500,000
受取手形	10,000	貸倒引当金	200
売掛金	20,000 1-② 10,000	受取利息	15,000
繰越商品	3,000		
貸付金	300,000		
仕入	150,000		

資料II決算整理事項

1. 現金実査を行ったところ、以下のものが見つかった。



なお、②他人振出小切手のうち、10,000円は売掛金の対価として期中に受け取っていたものであり、決算日現在、未処理、未記帳である。

仕訳)現金 10,000 / 売掛金 10,000 \rightarrow 小切手 12,000 - 処理済み 2,000 = 10,000 (整理前残高を訂正) 現金 1,000 / 雑益 1,000 \rightarrow 実地 26,000 - 帳簿上 25,000 = 1,000

6月19日

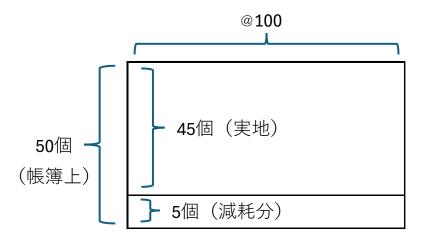
2. 売上債権の残高に対して 2%の貸倒を見積もる。差額補充法を採用している。 なお、貸倒引当金の残高は全て売上債権に対して設定されたものである。

仕訳)貸倒引当金繰入 200 / 貸倒引当金 200 → (売掛金 10,000 + 受取手形 10,000) × 2% - 残高 200 = 200

3. 商品の期末の在庫(帳簿上)は5,000円(@100 50個)である。

仕訳)仕入 3,000 / 繰越商品 3,000 繰越商品 5,000 / 仕入 5,000

実地調査によって判明した数量は 45 個であり、商品価値の減少等は発生していなかった。商品売買の記帳方法は、三分法を採用しており、棚卸減耗損の商品評価損は売上原価に含めるものとしている。



4. 貸付金は全て当期中に営業外の理由によって発生したものであり、期日は全て来期中に 到来する。貸付金の残高に対して、2%の貸倒を見積もる。 なお、利払い日は全て決算日と一致しており、期中仕訳では利息は計上済みである。

仕訳)貸倒引当金繰入 6,000 / 貸倒引当金 6,000 →貸付金 300,000 × 2% = 6,000

6月19日

5. 借入金は当期首に期間2年の約束で借り入れたものであり、利率は年2%で、利息は返済日に全額支払うこととなっている。

仕訳) 支払利息 10,000 / 未払利息 10,000 →借入金 500,000 × 2% = 10,000

各勘定の動き↓

現金		売掛金			
	15,000 次期繰越	26,000		20,000 1-②.現金	10,000
1-②.売掛金	10,000			次期繰越	10,000
1.雑益	1,000		_	20,000	20,000
_	26,000	26,000	= 		
	繰越商品			貸倒引当金	
	3,000 3.仕入	3,000	次期繰越	6,400	200
3.仕入	5,000 3.棚卸~損	500	70V3/ANC	2.~繰入	200
	次期繰越	4,500		4.~繰入	6,000
	8,000	8,000	_	6,400	6,400
_					
	未払利息			仕入	
次期繰越	10,000 支払利息	10,000		150,000 3.繰越商品	5,000
			3.繰越商品	3,000 損益	148,500
	貸倒引当金繰入		3.棚卸~損	500	
2.~引当金	200 損益	6,200	_	153,500	153,500
4.~引当金	6,000				
	6,200	6,200		受取利息	
		_	損益	15,000	15,000
	支払利息				
未払利息	10,000 損益	10,000		棚卸減耗損	
			3.繰越商品	500 3.仕入	500
	棚卸減耗損				
3.繰越商品	500 3.仕入	500			

6月19日

決算整理後残高試算表

	令和 3年 3月31日	
借方	勘定科目	貸 方
26,000	現金	
10,000	受取手形	
10,000	売掛金	
4,500	繰越商品	
300,000	貸付金	
	貸倒引当金	6,400
	借入金	500,000
	未払利息	10,000
148,500	仕入	
6,200	貸倒引当金繰入	
10,000	支払利息	
	受取利息	15,000
	雑益	1,000